



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月8日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 大
 コード番号 7634 URL <http://www.hosi.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)岡田 利夫 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,993	4.7	493	6.5	515	7.9	303	2.5
22年3月期第2四半期	3,815	△4.2	463	△21.9	477	△21.3	295	△19.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期	91	23	—	—
22年3月期第2四半期	86	47	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第2四半期	9,785		7,030		70.3	2,069	97	
22年3月期	9,607		6,832		69.6	2,010	94	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 6,880百万円 22年3月期 6,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	20	00	—	—
23年3月期	—	—	20	00	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	—	20	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,300	4.7	1,100	6.3	1,120	5.4	800	17.8	240	68

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	3,601,681株	22年3月期	3,601,681株
23年3月期2Q	277,774株	22年3月期	277,764株
23年3月期2Q	3,323,912株	22年3月期2Q	3,420,199株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初企業努力に支えられ景気回復基調を維持しておりましたが、後半にかけて、世界経済の減速やエコポイントを始めとする国内政策効果にもかげりが見えてきた影響などを受け、輸出や生産の拡大が減速基調となりました。

また、円高・株安が企業並びに家計の心理を冷やし、その結果設備投資と個人消費の下押しリスクも囁かれるなど、足踏み状態となる可能性が懸念される状況で推移しました。

当医療ガス業界においても、競争が激化するなか、国の医療費抑制政策の推進、並びに医療機関経営の効率化に伴うニーズの変化等の影響もあり、今後とも厳しい経営環境が継続するものと思われま

す。このような経営環境のもと、当社はお客様からの「安心・安全」というニーズに的確にお応えしつつ、医療機関・在宅関連・有料老人ホーム等、幅広い医療分野でのビジネスチャンスの発掘に努め、営業基盤の拡充を図るとともに、グループ全体の経営基盤、財務基盤のより一層の充実を目指して、企業価値並びに社会貢献度の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は3,993百万円（前年同期比4.7%増）と前年同期を上回る結果となりました。

一方損益面につきましては、厳しい市場環境のなか、前述の施策を推進した結果、経常利益は515百万円（前年同期比7.9%増）となり、四半期純利益は303百万円（前年同期比2.5%増）と、いずれも前年同期を上回る結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医療用ガス関連事業

当部門の需要は、緩やかながら増加基調にあります。一方で医療機関が淘汰されつつあり、将来的な薬価改定の影響等も勘案すると、今後も動向を十分に注視していく必要性があります。また、従来にも増して業界内の競争も厳しさを増していることから生産効率、並びに収益性の向上を図る必要性もさらに高まっております。

このような経営環境のもと、営業基盤の拡充を図るべく活動を重ねた結果、相応の取引成約等もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,749百万円、セグメント利益は241百万円となりました。

② 在宅医療関連事業

当部門は、当社の重要な収益源として継続して注力しており、社内での人材育成はもとより、医療機関に対しての在宅酸素勉強会等も積極的に提案し、当社の内容並びに知名度向上に注力しております。

新規開拓を主眼として集中的に人員を配した部署のさらなる効率的営業活動の推進、在宅酸素療法用酸素供給装置の稼働率向上に向けた全社的な営業力の強化、並びに顧客ニーズを反映したボンベキャリア及びバック等当社独自製品の開発も手掛けるなど、種々の施策を展開しております。

また、人工呼吸器や、CPAP（持続陽圧呼吸療法一閉塞型睡眠時無呼吸症に対応する機器）の販売に関しても、各メーカーとの連携を密にして注力してまいりました。

これらの結果、売上高は1,417百万円、セグメント利益は183百万円となりました。

③ 医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、各医療機関より医療ガス配管設備の施工、竣工後のメンテナンス等を行っており、相応の売上を確保しておりますが、経済環境を反映して工事案件自体が減少傾向にあることと、医療機関の工事物件の竣工時期が下半期に集中している事もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は231百万円、セグメント利益は17百万円となりました。

④ 有料老人ホーム関連事業

東京都杉並区阿佐ヶ谷にて運営中の有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」は、新聞折込みや杉並区の広報誌への募集案内の掲載等による宣伝、並びに有料老人ホーム入居者紹介業者との連携などの営業活動が奏効し、現状30室の平均稼働率は9割を超え安定していますが、今後の増床等も視野に入れ入居者募集活動は継続しております。

なお、前述の施策遂行にも関わらず、退去者（ご逝去）もあったことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は122百万円、セグメント損失は3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は9,785百万円（前連結会計年度末比177百万円増）となりました。これは主に、流動資産のうち、現金及び預金が212百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は2,754百万円（前連結会計年度末比21百万円減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が83百万円減少したこと、及び役員退職慰労引当金の増加18百万円、リース債務の増加48百万円があったこと等によるものであります。

純資産は7,030百万円（前連結会計年度末比198百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少66百万円及び当第2四半期純利益303百万円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より212百万円増加し4,015百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は572百万円となりました。

これは税金等調整前第2四半期純利益が511百万円となったこと、また売上債権の減少111百万円、仕入債務の減少83百万円、法人税等の支払額199百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は196百万円となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出174百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は164百万円となりました。

これは、リース債務の返済による支出97百万円、配当金の支払66百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績は概ね計画通りに進捗しており、前回公表（平成22年8月9日）の通期の業績予想に修正はありませんが、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

2. その他の情報

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

四半期連結財務諸表の作成基準をベースとしつつ、投資家等利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、一部簡便的な手続きを採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1 四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる当第2 四半期の損益に与える影響は、軽微であります。

3【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,015,750	3,803,657
受取手形及び売掛金	1,482,179	1,593,409
商品及び製品	80,359	80,072
未成工事支出金	57,212	29,856
原材料及び貯蔵品	33,456	32,663
繰延税金資産	62,412	62,276
その他	41,543	59,298
貸倒引当金	△18,531	△17,845
流動資産合計	5,754,382	5,643,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	566,148	542,682
土地	1,851,903	1,851,903
その他(純額)	694,284	639,390
有形固定資産合計	3,112,335	3,033,976
無形固定資産	25,305	32,508
投資その他の資産		
投資有価証券	411,095	463,242
その他	484,550	436,985
貸倒引当金	△2,362	△2,337
投資その他の資産合計	893,284	897,890
固定資産合計	4,030,925	3,964,375
資産合計	9,785,308	9,607,763
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,221,756	1,305,228
未払法人税等	217,186	208,887
賞与引当金	104,000	95,400
その他	577,058	552,202
流動負債合計	2,120,001	2,161,719
固定負債		
退職給付引当金	2,889	2,889
役員退職慰労引当金	413,597	395,297
長期預り保証金	39,462	50,804
その他	178,444	164,752
固定負債合計	634,393	613,745
負債合計	2,754,395	2,775,465

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	6,378,086	6,143,309
自己株式	△466,941	△466,922
株主資本合計	6,861,033	6,626,274
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,346	57,917
評価・換算差額等合計	19,346	57,917
少数株主持分	150,533	148,105
純資産合計	7,030,913	6,832,298
負債純資産合計	9,785,308	9,607,763

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,815,073	3,993,899
売上原価	1,685,886	1,747,123
売上総利益	2,129,187	2,246,775
販売費及び一般管理費		
役員報酬	132,177	144,840
給料及び手当	615,295	637,657
賞与引当金繰入額	83,126	91,000
役員退職慰労引当金繰入額	38,700	18,300
その他	796,842	861,778
販売費及び一般管理費合計	1,666,140	1,753,576
営業利益	463,046	493,198
営業外収益		
受取利息	4,489	4,404
受取配当金	6,228	5,946
その他	6,660	14,851
営業外収益合計	17,378	25,201
営業外費用		
支払利息	3,028	3,199
営業外費用合計	3,028	3,199
経常利益	477,397	515,201
特別利益		
投資有価証券売却益	16,820	—
固定資産売却益	24	—
貸倒引当金戻入額	9,431	—
特別利益合計	26,275	—
特別損失		
固定資産除却損	38	3,819
特別損失合計	38	3,819
税金等調整前四半期純利益	503,634	511,382
法人税等	204,180	203,794
少数株主損益調整前四半期純利益	—	307,587
少数株主利益	3,727	4,337
四半期純利益	295,727	303,249

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	503,634	511,382
減価償却費	161,314	182,001
のれん償却額	6,500	6,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	—	△0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	38,700	18,300
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,102	710
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,263	8,600
投資有価証券売却損益 (△は益)	△16,820	—
受取利息及び受取配当金	△10,718	△10,350
支払利息	3,028	3,199
有形固定資産除売却損益 (△は益)	14	3,819
売上債権の増減額 (△は増加)	269,372	111,229
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△74,779	△27,272
仕入債務の増減額 (△は減少)	△151,831	△83,471
その他	48,604	5,994
小計	768,181	730,641
利息及び配当金の受取額	9,267	9,980
利息の支払額	△3,028	△3,199
法人税等の支払額	△278,710	△199,727
法人税等の還付額	—	35,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	495,710	572,919
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
定期預金の払戻による収入	900,000	—
投資有価証券の取得による支出	△10,373	△9,543
投資有価証券の売却による収入	32,280	—
有形固定資産の取得による支出	△123,281	△174,021
有形固定資産の売却による収入	455	—
長期貸付けによる支出	△3,000	—
長期貸付金の回収による収入	4,903	5,727
その他の支出	△17,702	△19,378
その他の収入	501	410
投資活動によるキャッシュ・フロー	583,782	△196,806
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△51,949	△97,437
自己株式の売却による収入	7,667	—
自己株式の取得による支出	△268,226	△19
配当金の支払額	△69,611	△66,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	△382,119	△164,020
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	697,373	212,093
現金及び現金同等物の期首残高	2,388,742	3,803,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,086,116	4,015,750

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	医療用ガス 関連事業 (千円)	有料老人ホーム 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,690,432	124,641	3,815,073	—	3,815,073
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	799	—	799	△799	—
計	3,691,231	124,641	3,815,873	△799	3,815,073
営業利益	454,202	8,560	462,763	283	463,046

(注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、製品・商品の種類を基準として、「医療用ガス関連事業」及び「有料老人ホーム関連事業」の2つに区分しております。

2. 各部分の属する主要な製品・商品の名称

事業区分	売上区分	主要製品・商品
医療用ガス 関連事業	ガス関連	医療用酸素ガス、麻酔用ガス、分析用標準ガス、滅菌用ガス、その他医療用ガス全般、各種調整器及び流量計各種吸引器、その他医療用機器全般、容器運搬車
	在宅関連	在宅酸素療法用酸素濃縮器、在宅酸素療法用液化酸素、在宅人工呼吸器、在宅酸素療法機器
	工事関連	医療ガス配管工事企画・設計・施工、特殊ガス配管工事企画・設計・施工、医療ガス配管設備保守点検
	介護福祉関連・その他	電動三輪スクーター、電動四輪スクーター、歩行補助車・歩行器、車椅子・ストレッチャー、伸縮杖・折りたたみ杖・固定杖、四点杖・ロフトスタンド・クラッチ・松葉杖、入浴用品・排泄用品、介護・福祉機器全般、その他介護用品の販売及びレンタル事業 生体モデル、聴診器、血圧計、ナース用品、その他看護学校向け商品
有料老人ホーム関連事業		有料老人ホームの経営、その他付帯する業務

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「医療用ガス関連事業」、「在宅医療関連事業」、「医療用ガス設備工事関連事業」及び「有料老人ホーム関連事業」の4つを報告セグメントとしております。

「医療用ガス関連事業」は、医療用酸素ガス、麻酔用ガス及びその他医療用ガス全般の販売をしております。「在宅医療関連事業」は、在宅酸素療法用酸素濃縮器、持続陽圧呼吸療法用機器、在宅人工呼吸器等のレンタル及び販売を行っております。「医療用ガス設備工事関連事業」は、医療用ガス配管工事の設計・施工及び医療用ガス配管設備保守点検等を行っております。「有料老人ホーム関連事業」は、有料老人ホームの運営及びそれに付帯する業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	有料老人 ホーム 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,749,753	1,417,692	222,923	122,335	3,512,705	481,193	3,993,899
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	8,130	—	8,130	933	9,063
計	1,749,753	1,417,692	231,053	122,335	3,520,835	482,127	4,002,962
セグメント利益 又は損失(△)	241,305	183,739	17,370	△3,129	439,285	61,850	501,135

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護福祉関連レンタル事業、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	439,285
「その他」の区分の利益	61,850
セグメント間取引の消去	△7,936
四半期連結損益計算書の営業利益	493,198

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。